

鳥取市庁舎整備を巡る5月の住民投票で耐震改修案を推した「市庁舎新築移転を問う市民の会」(吉田幹男会長)は12日、記者会見を開き、耐震改修案の検証作業に問題があるとして、市議会や市の進め方を批判した。

市議会の依頼で検証作業に当たった日本設計(東京)が、総事業費を43億4000万円と報告したことについて「設計単価の設定がバブル時並みに高い」と指摘。

[以下、未収録]